

令和2年度

湖南省行政改革懇談会議事要旨

第2回会議

(令和2年 10 月2日開催)

湖南省財政課行財政改革・ICT 推進室

懇談会委員出席者	副会長	田中 正志
	委員	石井 良一
	委員	市川 徹二
	委員	岡田 啓子
	委員	木島 真介
	委員	小林 邦彦
	委員	園田 英次
	委員	土山 希美枝
	委員	戸簾 和俊
	委員	中作 佳正
	委員	広部 武
	委員	森本 ゆかり
	懇談会委員欠席者	会長
委員		北村 亘
委員		手島 英治
事務局出席者	総務部長	井上 俊也
	総務部次長	森村 政生
	財政課行財政改革・ICT 推進室長	青木 浩司
	財政課行財政改革・ICT 推進室長補佐	森岡 和也
	財政課行財政改革・ICT 推進室長補佐	伊原 優実
	財政課行財政改革・ICT 推進室主任主事	谷口 達哉

開始 9時 35 分

事務局

皆様おはようございます。
本日は公私ご多用中ご出席をいただきまことにありがとうございます。
会長の方が少し遅れられているようでございますけども、定刻を過ぎましたので、進めて参りたいと考えております。
会議を開催するにあたりまして、まず、田中副会長様の方から、ご挨拶の方をお願いしたいと思います。

副会長

皆様、おはようございます。
お忙しいところご参加いただきまして、ありがとうございます。
会長が少し遅れられるということで、代わりに議長をさせていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。
本日は、第四次湖南省行政改革大綱の第2回目の懇談会ということで、皆様、活発なご議論をいただきますようによろしく願いいたします。

事務局

ありがとうございます。
それでは議題に入る前に、本日の会議の成立についてご報告をさせていただきます。委員の皆様、15名に対しまして、現在の出席は12名でございます。従って、行政改革懇談会運営規則第六条第2項に基づきまして、2分の1以上のご出席でありますことから、本日の会議が成立していることをご報告させていただきます。
それではこれより、議題に入りたいと思います。
湖南省行政改革懇談会運営規則第五条の規定により、懇談会の議長は、会長ということになっておりますが、会長が遅れておることから副会長の方をお願いをしたいと思います。

議長

それでは、早速議題に入らせていただきます。
本日の議題は、第四次湖南省行政改革大綱についてでございます。
まず初めに、1)これまでの成果と今後の課題および、2)番目の大綱の理念、目的につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局

【資料に基づき説明】

議長

ただいま事務局から1番目のこれまでの成果と今後の課題、2番目としまし

て大綱の理念、目標についてご説明がありました。
これらについてご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員 13 ページの財政収支の見通しなんですけども、これ財政課の方で作られた最近のものなんですか。

事務局 湖南市の長期財政計画がございまして、そちらの方でも、今後歳出の取組とかにつきましては、いろいろと補助金等の見直しも行い抑えていくと。そういった中で、全く何も取り組まなかった場合につきましては、歳入の方は見通しを立ててこういう推移でいきますが、歳出の方も何も行革の取組をしなかった場合につきましては、おそらくこういった形で伸びていこうと。そうなりますと最終的な差し引きを歳出の一番下のところに差引額として書かせていただいております。歳入の見込みに対しまして歳出の見込みの方が増えてくるということで、赤字というような形にもなってきますので、行政改革の取組を今後も進めていく必要があるということです。今事務局案になっておりますけども、事務局をしている室の方が財政課の中にありますので、財政課と事務局の方が連携しまして、こちらの方の収支の見通しの方を作成させていただいているところでございます。

委員 これを作成したのはいつなんですか。

事務局 平成 30 年度に、長期財政計画の方を策定しております。説明が不足して申し訳なかったんですが、長期財政計画につきましても、今年度見直しの予定しております。ただ、皆様ご承知の通り、今新型コロナウイルス感染症の関係もございまして、来年再来年度にかけましては特にそうなんですが、税収の方が落ちる見込みを想定しております。

そういったところで、今市の中でも長期財政計画の見直しの方も取り組んでおりまして、こちらのデータにつきましては、誠に申し訳ないんですけども今現状の平成 30 年度に策定しました長期財政計画ではこういう見通しになってますというので上げさせていただいておりますが、今後、今申し上げました長期財政計画を策定させていただいた折には、若干こちらの方を修正させていただきたいというふうに思っております。

他のデータの方につきましても今既存のデータを使わせていただいて、作らせてはいただいておりますし、そちらのデータの更新がありましたら、こちらの行政改革の大綱の方の策定時が3月ということになってますので、それまでの間には直させていただきたいというふうに思っているところでござ

います。

委員

平成 30 年度に作られたからちょっと少し前の予測だと思うんですけども、これでも非常に厳しい予測をしていると思うんですね。市税も減るでしょうということだし、歳出についても、例えば人件費は、抑制気味にしていると思うんですけども。1つの例なんですけども、投資的経費ですね、これ建設事業や維持・補修に充てる費用ですけど、平成元年 15 億程度ですけど、これ令和 7 年には 2 億ということで、おそらくもうこうなるとほとんど新規の建設事業はしないということかなっていうふうに、そのぐらい抑えて、しかもそれでも 7 億円の赤字、収支差が出るということで、これをまた借金にするという手もあるかもしれません。貯金を使うっていうのはあるかもしれませんが、おそらく新しい長期財政計画は、さらにこれ赤字収支差がですね、拡大せざるをえないかなと思うので、後ろの方は非常に淡々と説明書いてあるが、やはりここをきちっと危機感を与えるような危機感を持ってもらえるような表現とか、具体的にこれを改善するためにどんなことをしなくてはいけないかという、努力しないとこうなる。多少努力してるのかもしれないけど努力してないというけど、さらにこんな努力をしないといけないということも示したほうがいいかなというふうには思いました。

事務局

今、おっしゃっていただきましたように、今後の長期財政の収支見通しの方はこのように赤になっていきますよというような中で、やはり何も取組をしませんでしたら、やはりこのままの状況でいきますというような形になってきます。そういった中で、やはり行財政改革というものは限られた資源を活用しまして効率的な行財政運営を図っていくということにあると思いますし、そういった中で、今おっしゃっていただきましたように、こういうふうになるのであればこういう取組を進めていかなければいけないなということを、今回の行政改革大綱の方に盛り込ませていただきたいというふうに思っております。そういった中で、基本理念、目標の方を定めさせていただきます、また後程ご説明させていただきます、取り組むべき政策のところでも、こういったことに、湖南省の方では今後取り組んでいきたいと。人口減少なり、少子高齢化が進んでいく中で、持続可能なまちづくりを今後も市の方では進めていきたいということで、行政改革大綱の方を今回見直させていただきます、市民の皆様、また議会の方々にもご理解もいただきながら、行政としても取り組んでいきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

議長

お願いします。

委員

同じような質問になるかも知れませんが、今までの流れともものすごく大きく変わって来てるんじゃないかなと思うんです。その新型コロナの感染もさることながら、人口減少が非常に大きくなってきた。当然税収が減ってくる。

そういう中でどうしていくか、こういうことになってくるかと思うんですね。

例えばこんなこと言っただけじゃないけれども、職員が、第一次のときは 490 人ぐらいおられて、第二次のときになったら 460 人ぐらいに減った。第三次になった時に 430 人ぐらいに減った。それを大幅にデジタル化するし、そういうようなことで大幅に減らすとか、あるいはその施設の老朽化・修繕費というだけじゃなくて、もう潰すものは潰すと。土地があれば売ってしまうと。それぐらいの思い切ったことでやっていかなければ、何か行政改革が追いついていかないような感じがしますので、非常に一生懸命考えてやっていただいているんですけども、その辺のところも、この会議の中でいろいろとやっていかないといけない問題になるのかもしれないですね。

事務局

今のご意見の方なんですけども、湖南省の方では合併した時に大体平成 17 年の段階で 500 人ぐらいの職員の規模でございました。二町が合併しまして今言ってくくださった、大体 490 人ぐらいの規模でございまして、それが、大体今仰ってくださったように 60 人ぐらい人を減らしてきてるというような状況でもございます。ただ、今後市の方でも考えていかなければいけないと思いが、今言ってくくださった、事務の効率化を図っていきまして今あるサービスの方も、見直しもかけながら持続的に進めていくという中で、職員費用、人件費としてかかっていましたものと、また、いろいろとデジタル化とか進めましたら、委託費とかも増えていくというような形もありましてそういうバランスもしっかり考えていかなければいけないなと思っています。職員をあまり減らし過ぎますと、行政サービスの低下にも繋がりがねないというのでもございますし、そういったところをしっかりと抑えさせていただいて取り組んでいきたいというふうに思っております。

それからもう一つ、また後程ご説明させていただきますけども、今回今後も取り組んでいく施策の中では公共施設等の総合管理計画の着実な実行。これは前回の計画でも挙げさせていただいてたところでございます。

昨今国を初め各地方自治体におきましては、先ほど説明させていただきましたけれどもいろんな施設の老朽化が激しくなっていると。国の方もどちらかと言いますと、今後は施設の長寿命化を進めていくというような形、要

らない施設につきましても廃止していく。また、必要な施設については、長寿命化していく、延伸していく。また、それよりも老朽化してるものにつきまして必要なものは建て替えるとか、そういったものを総合的に計画して、管理していかなければいけないと思っておりますし、湖南省の方でも、公共施設等総合管理計画というものを平成 28 年に定めまして、今後の湖南省の身の丈に応じました施設規模はどういうふうなものだという計画を作らせていただいております。それで、今年度各施設の個別的に今後どういうふうに施設を考えていこうかというような個別施設計画というものも作らせていただくというふうに思っておりますし、そういったところを総合的に、多角的多面的に取り組んで参りたいというふうには思っております。

議長

お願いします。

委員

こういう場面でどこまで、いろんな選択肢のある議論ができるかって言うところですね、多分私は割とその選択肢を広げる方向で言わなきゃいけないかなあと思ってるんですけども、今までのお話はですね、やっぱり今の前提、今ここまで積み重ねてきたものを、状況に合わせて微修正しながらうまく何とかやっていきますよ。というトーンのお話だと思うんです。ただ先ほどのご提起にもありましたように、それで済むんですかねというのがやっぱりご提起いただいていることの部分だと思うんです。

私もやっぱりすごく心配になりましたのは、もうこの予想図では難しいだろうなっていうことを前提として、組み立てられた行革を、それで効くのかということですね。さらにそのコロナのところに関して言えば今回も、やっぱりこういうのは時期を読まれるものだなあと思っていて、またそれが実際に必要であろうということについては共感一つなんですけれども、デジタル社会の推進スマート自治体への転換というのはですね、これやっぱり結構お金のかかる話であろうと思うわけですね。もちろん一定補助は出るとは思うんですけども、100%なわけではないし、当然出てきますし、これまで遅れていたのであればですね、さらにお金がかかるであろうところだと思うんです。

コロナのそのあとの財政計画も今作り直していて、削らなきゃいけないね、何とかうまくやっていきますという中で相当金がかかるようなことが出てるところであれば、一旦作り直してはいかがか。要するに微調整では間に合わないの、この際、多少、年が空いたとしても。じゃあどうする将来っていうことを、もう少しリアルにとらえて検討するような選択肢があるべきではないかということは申し上げなきゃいけないかなというふうに、思っています。また、この間ですねやっぱりいろいろご努力されている中でやっぱりな

かなか変わらないというところにですね、いろんな場面で書かれ、もちろん現状からも大変なのでそれはそこでは真摯なご努力をされてるということは疑いませんけれども、やっぱり、この間、やってきたやり方をですね、さらにブラッシュアップしながら何とかうまくやっていきますということに、今ここにお邪魔して湖南省の行革を考える懇談会で何とかうまくやっていただけそうですねっていうところですね、何かちょっとまとまれないなあと思っていて、一旦、もう1回組み直す。多少、三次と四次の間に、間が空いてもということの方が、実は組み立てたけれどもやっぱりコロナインパクトでそれどころではないということ、第四次でずっと聞かされるよりはお互いのためにいいのではないかなと思うんですけどもいかがでしょうか。

議長

事務局、お願いいたします。

事務局

行政の方としましても、今言ってくださいましたように今後コロナ禍の影響で、どのように状況が変わってくるかもわかりません。そういった中で、今回提示させていただいている中では、やはり国等も示してます通りコロナの影響によりまして、様々な生活の様式を今後変えていかなければいけない、そういった中で、昨今話題になっていますデジタル化の方にやはり力を入れていきまして、今言ってくださったように、お金もかかりますけども将来のことを見込みまして今後デジタル化というようなことも力を入れていきたいというふうに思っております。

そういった中で、行革大綱は今年度で一旦切れてしまいますけれども、この第四次というのは長期財政計画もそうなんですけれども、一旦切れますけれども、とりあえずこちらの方で引き継いで作らせていただきまして、ただ私ども行政の方が考えていかなければいけないのが、計画期間を策定した場合に、今回の計画につきましても、一旦、令和3年から7年度までの5年計画としますということをおうたっております。今、言ってくださいましたのは一旦これ作ってしまうとまた5年間何もというような形にも、行政の悪いところが見直しを随時かけられてないところもございまして、私どもとしましては、一旦作らせていただきまして、現状を踏まえて今強化しなければいけないところをおうたわせていただきまして、それで、また来年再来年につきましても、状況がまた大きく変わるようでしたらこちらの方は見直ししていくべきかなというふうに今事務担当の方でも思っているところでございます。

議長

お願いします。

委員

第1回からこの行革に携わってきたんですけども、少しずつ変わってきたなという面はあるんです。でも取り組んでいくのになかなか実行できない、いろんな弊害があるんです。だから、収入に関してもやはり規制緩和、いろんな、今の前を通っている旧1号線沿い。それから地域の様々なところでも、まだ規制がかかっていてなかなか改革はできないし新しいものできない。そこら辺が税収の低減、そこら辺を見据えた形でどんどんやっていかないと。初めのときもそういうこと言ってたんですけど、なかなか取り込んで行けてないんですよ。だから、レッツゴーを早くすることが大切だと私は思うんですよ。で、今の説明を聞いていて、1回から2回3回経験してるものは少しはわかるんですけども、いきなりこう難しい角度ですっと説明されるとなかなか理解できないと思うんです。だから、少しはかみ砕いた説明をしていただいた方がいいかなと思います。

先ほど言われた、扶助費なんかでも一旦下がりますと、甲賀病院の負担金が少なくなったこと、少なくなったから、一旦下がったけどまた増えていく。これ何の改革もなければどんどん増えていくんですねこれからの時代。

だから、そういうものを加味して、先のことをもう少し述べていった方がいいんじゃないかな、せつかく元年でやって7年度までに何とか達成できるものを早くやる。それと、ごみ処理の問題でも老朽化していますまた負担金が増えてくる。だから、同じことを繰り返しますから、本当に湖南市として、どうやるべきかということを見据えたものを、ある程度構想を練っていただいて、説明していただければありがたいかなっていうのは私の思いです。

委員

今おっしゃった通り私はまだ2回目でございますので、実はこの内容がいまいちよくわかってないところがございます。特に13ページの費用の部分で、いわゆる憲法上、地方公共団体ですから、市民サービスに使われてる人件費と言われてるものと、その行政をチェックするためであろう議会に使われてる費用とその他と、いくつかに分類された方が、わかりやすいんじゃないかなと。直接、市民のためにやってる行政に関わるお金というのはこれだけです。チェックするためにかかっているお金がこれだけです。その他こういうことにかかっています。すべてに関わることでしょうけども、ある程度見える化しないと、逆にわかりにくいんじゃないかなと。行政改革ですから、そこまで踏み込んでいかどうかっていうのをまだ一年生なんでよくわからないんですが、一市民としてはやっぱりそこまで踏み込んでいただきたいなと思います。

議長

補足ありましたらお願いします。

先ほどおっしゃった件について、資料の3をご覧ください。これまでの湖南省の取組ということで、湖南省の方は先ほど申し上げましたように平成16年10月に旧石部町、旧甲西町が合併しました。合併したといいますのがやはり、今後も基礎自治体の規模を適正にしまして、できる限り効率化を進めていくと。そういった中で二町が合併した。それぞれだぶってるような施設もありそういったものも、やっぱり適正に管理もしていかなければいけませんし、そういった中で第一次行政改革大綱というのを18年に設けさせていただいて5年間の期間で取組みさせていただいております。そのあとでもやはり、時代の流れに沿いまして、民間さんでしたらスピード感持って進められるところがあるんですけど、行政はやはり市民さんのご理解を得るのに時間もかかり、スピード感が欠けてるところもございまして、第二次行政改革大綱でも取組みさせていただいて、今は第三次で取組みさせていただくと。継続的に取組みさせていただいているというところで、なにも取組みをしなければやはり、財布のひもを締めないっていうようなこと、また、行政サービスの様式も変えていかないということで、膨らむばかりでもございしますので、そういったところは一定の成果は、出ているかなというふうに思っております。

ただそれを、先ほどおっしゃいましたように、市長が私どもの担当の方には言っていますのが、市行政のサービスまた行政の情報を見える化して、できるだけ市民さんにも理解していただくということが大切だろうと。どういう取組みを今、市がしているかというのを、もっと見える形でいろんな資料を用いて提示していきましてご理解をいただきながら、今後行政サービスすべてのものをこのまま継続していくっていうのは非常に難しいところがあると思えます。

そういった中で、やはり市民の力をお借りしまして、一緒にやっていきたいということもありまして今回、次の説明になりますけども第1の政策のところでは、もう一段市民さんとともに、まちづくりを進めていきたいというところを示させていただいておりますのと、あとやはり費用対効果の面や、また、人口減少、職員の人数ということにつきましても、今後はいろいろと考えていかなければいけない中で、やはり行政の効率化を進めていこうと思えますとやはり今はデジタル化を進めていかなければいけないと。そういった中で、湖南省の方でも前回の時から、いろいろ行財政改革の中では、デジタル化を進めていくというところで、近隣市町と共同しましてクラウド化によりましていろんなシステムを共同開発・共同利用のもと、費用を抑えてきてるとかということもやっておりますし、そういったところにもまだまだ力を入れていかなければいけませんし、今言われてますデジタル社会の推進は、今後、い

ち早く取り組んでいかなければいけない、全庁あげて取り組んでいかなければいけないと思っていますので、今回政策の柱にも挙げさせてもいただいています。

そういった中で、皆さんにご理解いただきながら行政サービスを見直し、これから人口減少・少子高齢化を迎えるにあたりまして、湖南省が今抱えている課題をいかに乗り越えていくかが大切だと思いますので、今回このように示させていただいてるところでございます。

ちょっと市行政として反省すべき点はこういう取り組みがなかなかオープンにされてないというところがございますので、できるだけ皆さんのご理解も得ながら取り組んで参りたいというふうに思っているところです。

議長

お願いいたします。

委員

先ほどからいろいろ話が出てるんですけども、私自身もこの課題とする、少子高齢化とかですね。そういったところってのは日本全体は問題はあるのかもしれませんが、当然、人口増加してる市町村もあるというふうなこともありますので、その少子高齢化あるいはその中での縮小均衡での財政計画、そういったところでやむを得ないのかもしれませんが、非常に大きなインパクトのあったニュースとするとやはり、この 35 年前に建てられたこの平和堂甲西中央店が閉鎖されるというところからすると、民間の企業さんがこの湖南省では利益が上げられない構造になってきているというのはやっぱり大きな問題としてとらまえなければならぬかなと。

そうするとやはり、非常に大きな大胆な発想の転換で、湖南省が人口増に転換するにはどうしたらいいとかですね。先ほど言われましたけども、いろんな規制緩和、土地関係の規制緩和ありますけどもそういったところを大胆に取り組むことによって、人口を増加させる部分を行政として転換する、そういったことをすることによって、企業の誘致ができたらずね、工場とかもたくさんありますけどもそのユーザーってのは、全国・全世界にありますので、そこを、そんなに大きく動きはないのかもしれませんが、一般消費者が買われるスーパーとかが撤退されるということ、この行政機関として十分にかみしめながら、取り組む方向感を考えていかないと、これこの次、今後 15 年後 10 年後には、ほぼ県道4号線については店がなくなっていくということも考えられますし、それでは地域の発展もないということからも、私個人とすると、本当にもう大胆な発想の転換というのを期待するところでございます。そういったところも織り込みながら考えていただければというふうに考えてます。

事務局

今言っていただきましたように、湖南省の方では私どももちょっと驚いてるんですけども平和堂の甲西中央店さんが撤退するとか、国一バイパスに国道1号線が振りかわってから、こちらの方の旧1号線沿いの発展のこととかもいろいろと、やはり計画的に取り組んでいかなければいけないということで、湖南省のこの行政改革大綱とまた別に、湖南省の方では第1回目の時も説明させていただきましたように、まちづくりを今後どう進めていくにつきましては、湖南省の総合計画というのをごさいますて、これは、平成28年度に第二次の湖南省総合計画というのも受けまして、今後十年間で、未来のまちはこういうふうにしていきたい、いきたいと思います、湖南省の総合計画の方で上げさせていただいて取り組んでおります。そういった中で、今後人口減少を迎えるに当たりまして、湖南省の総合計画を練るときにも、湖南省の総合戦略というの、その前年度にも作られていたりもしてまして、人口が今後減少していきますけどもそうした減少をそのまま放っておいて、そのまま減少していくのかということではなくて、総合戦略的にいろんな仕組みを用いまして、やはり人口も減らないような取り組みっていうのは、総合計画なりまた総合戦略の方で、取り組みをさせていただいております。そういった中でこの行政改革の大綱の中では、特にそうなんですけども今既存の事業の見直してっていうのが、限られた資源、今ある資源をどういうふうに生かして今後こういうまちづくりを進めていくにはいろんな財源も捻出していかなければいけませんし、行財政運営を見直していかなければ、事務事業を見直していかなければいけないと。いうこともございまして、行政改革大綱の方では、今あるところをどう見直していくのかというところを、一つポイントに、進めていきたいというふうに思っております。将来の構想につきましては総合計画の方でカバーできてるかなというふうにも思っておりますので。

委員

おそらく、我々も本部とかがあっていろんな計画とか立ててるんですけども、その時間軸と、市場の時間軸にやっぱりすごい開きがあるっていうのがやっぱり事実なのかなというふうなもの一つと、先ほどの財政の部分の話がありましたけども、先ほどお話ありましたがやはり政策、要するに投資的経費が、これだけ激減するという部分というのが、僕からすると非常に危機的な部分かなと。やはり投資をしながら発展をしていくというのが基本ベースだと思いますし、ここが今、15億ある部分が2億になるという部分というのが本当に現実味がある数字なのかというのが感想でございます。

事務局	<p>今言っていただきましたように、先ほどいただいた意見とも同じことかなと思いますけども、行政が時代時代に即し計画を練りましたら例えば、今総合計画を申しあげましたのが平成 28 年 4 月にできてます。これは十年間の構想でございまして、前期計画が今年度終わりました、今、ちょうど第二次の総合計画の後期計画を、ちょうど今日までパブリックコメントもさせていただいて今年度中に作る予定をしております。そういった中で、やはり行政といたしましては、今新型コロナウイルス感染症が、昨年度末から今年度にかけて今もまだ終息が見えない中ですけども、いかに迅速にその状況状況に適応していかっていくことが非常に大事だと思っておりますので、こういう計画を練りましても特に行革の計画とかにつきましても、その時々にはやはり見直しは必要かなとそれでスピード感を持ちまして取り組んでいく必要があるというのを、ひしひしと私ども今感じてるところでございます。</p>
議長	<p>お願いいたします。</p>
委員	<p>15 ページの大綱の目標なんですけども、これ文章で書いてあるんですが、次世代に過度の負担を残さないまち。これを実現することは非常に大切なんですけど、これを実現するための数的指標ですね、数字の目標。例えば、借金はこれ以上ふやさない。貯金は、これ以下にはしない。毎年の財政運営は、例えば難しい言葉で言うと経常収支比率とか言うのがあるんですが、この%以下にするとかですね。職員5年後の職員数はここにするとか、たくさん指標あげる必要ないと思うんだけど、この計画で守っていくことは、こういうことを5年後にも何とか死守するという数字の目標を示して欲しいなというふうに思います。以上です。</p>
事務局	<p>数字の目標につきましては、今、行政改革大綱の方につきましては大枠のところを、皆様のご意見もいただきながら、また市民さんの意見も踏まえて、大枠のところをこちらの方で示させていただきたいなと思っております。それから、前回もそうだったんですけど第三次の行政改革大綱の方でも、実施計画というのを大綱で皆さんでこういう方向に向けてそしたら取り組んでいくべきですよというのを確認をいたしましてから、実施計画の方でその辺の数値の方を上げさせていただきたいというふうに今のところ思っているところでございます。</p>
議長	<p>それではまたさかのぼっての、ご意見ご質問も結構だと思うんですけども、続きまして3番4番も、また共通するところが多いと思いますので、ご説</p>

明の方をお願いできればと思います。

3番取り組むべき政策と政策に基づく取り組み内容について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局

今副会長が言ってくださいましたように、今、次第にあります1番目2番目の説明をさせていただいていますが、皆様の質問にお答えさせていただく中では、3番目4番目のところにも入っておりましたが、これから3番4番目の方で説明させていただきまして、全体としましてまた、ご意見をいただければと思います。それでは事務局の方から説明させていただきます。

事務局

【資料に基づき説明】

議長

ただいま事務局から、取り組むべき政策および政策に基づく取組内容のご説明がありました。

前半の部分と重複しても結構でございますので、ご質問、ご意見ございましたら、よろしく願いいたします。

委員

トータル的にお話させていただきます。

私自身も守山に住んでまして、守山という地も土地建物を自分が持つておられる方が商売をされてる感じがあって、テレビとかで見ているような月100万ぐらいの賃料を払って事業をされてる方も少ないかなってところをちょっと感じてます。今までのこの流れを見てると、本当はもっと危機感があるはずなのに、そういうところに触れずに、流れが来てる感じがしてるんですけども、本当に湖南市の現状に合わせて書いていいのかわ、最悪の事態じゃないですけど、今は、融資に関しても無利子で3年間は何とか持てる方が、たくさんあると思うんですけど、最悪の場合も考えた状態での厳しいこともちょっと入れたほうが、せつかくこの時期に作ってるものなんで、入れて書くべきじゃないかと私は、感じています。本当にデジタル化ということで、今いろんな、給付金とか補助金とかのサービスが出てますが、自分でパソコンを開いてできないものもたくさんあります。実はそれができない方がいっぱいいらっしゃるって、もうその例えばフォローって一体誰がするんだろうとか思ってます。私自身も一職員、嘱託職員であるんでそのことから、お伝えしたりしてますけれども、いろんな意味でどんどん進化した機能を使っていくと、ついていけない方がまだまだたくさんいらっしゃいます。一般的なワンストップの総合窓口ってすごい必要じゃないかっていうのを私は思ってます。その中で合わせてそういったサービス、まずその言葉でお伝えするサービスも、

いろいろな形であって、そういうのも同時にやっていかないと、ついていかない方々もたくさんあるんじゃないかと思ってますし、そういった最新の機能に頼りすぎてそれがストップした時とか、止まったときのことも合わせて考えないと、麻痺するんじゃないか頼りすぎて麻痺するんじゃないか感じてます。私自身はこういう時期だからこそ、残念ながらやっぱり、切らないといけないっていうか、ちょっと優先順位が後ろになるものとかも、廃止すべきものもあるんじゃないかと思ってます。決断と選択。そして、先ほどのワンストップの支援、大きな推進力、志、それから、この湖南省の庁舎。一つの事業所として例えるんだったら、大きなリーダーシップのもとやれる組織もとても必要じゃないかなと思ってます。そういうものも、入れていただきたいと思います。私の勝手な解釈で、例えばこの、第3の政策の、従来の改革の継続という言葉なんかはちょっと誤解もされやすいんですけども、とてもゆるい言葉じゃないかなってのは思ってます。以上でございます。

議長 ありがとうございます。事務局ございましょうか。

事務局 今言ってくださいました、先ほど来からもありますけども、今が一番危機的な状況かなあと。新型コロナウイルス感染症に伴いまして、やはり、日本国内、世界中におきまして危機的な状況に陥ってるかなと。そういった中で、やはりその危機感、また湖南省と独自の危機感というもの、危機的なところもあると思いますので、そういったところをもう少し強調すべきだというふうなご意見もいただいておりますし、そちらの方はまた検討させていただきたいというふうに思っております。そういった中でやはり市としまして、これを第四次として取り組んでいくに当たりましては、今言ってくださったように決断と選択そういったところもやはり重要だと思いますし、そういった皆様からいただいたご意見等も、踏まえさせていただいて、今の段階では素案というような形でございますので、次回に提示させていただければなというふうに思っております。

議長 お願いします。

委員 非常にわかりやすい説明でありがたかったんですけども。前回からずっと来て市税徴収率、第1回目からだったら大分上がりました。今 99. 1、28 年度の決算。改革目標が 98. 9 になってるんですけどね。この不公平さというのはやっぱり徹底すべきじゃないかなと。湖南省は許さないという、そういうね、強い立場でやっていく必要があると思うんですけどね。

だからやっぱり、国民、市民の課せられた義務っていうのはやはり、そこら辺にあると思うんですね、この徴収率上げないと。まだ 99. 何%とか言うたら、1. 何%が逃げているっていう。だから、やはりそういうところにも、大綱の中に強い言葉入れてもいいかなってさきほど思ったんです。それに繋がる税率のアップの中にですね、マイナンバー制度っていうのが、今非常に低いですね。企業なんかは、きっちりとマイナンバーを提示しないと、雇用しないということになってるんですけども。一般のほかの中小企業さんですね。よくそこら辺の社会的に社会的モラルっていうんですかそういうのが欠如してるような感じが往々にあるんですね。だから、やはり、今飲食業者、コビットでいろんな問題を受けて、夜働く飲食店で働く人たちは、もらうものはもらうけれども、払うものは払わない社会っていうのをこういうのを、税収の別項目でこの第三次で上げてしまって、税率アップの項目なんかあげたらどうかなあという気はしてるんですけどね。単なる税収アップじゃなしに、何かそういういい方法ないかなとちらっと思ったんですけども、ちょっと参考に、お話をさせていただきました。

事務局

今言ってくださいましたやはり市民サービスを、より継続して提供させていただく、公平に提供させていただこうと思いますと、そういった税の負担っていうのは、公平性の観点からやっぱり税収につきまして、税率につきましては、やはり 100%に近い形に持っていきたいなというのがありますし、一旦今回の第三次のところでは、その目標のところは達成もできてますけども、こちらの方は引き続き、やはり取り組んでいべきかなというふうに思っております。といいますのが、やはり心配しておりますのがやはり、何回も言って申し訳ないんですけど新型コロナウイルス感染症のことによりますと、今後やはり市民さんとかもやはり、困ってこられて税を納められないというような形にもなってくるかもしれませんのでそういったところも見まして、しっかりと税の方の徴収率の方は、確認していくべきだというふうに思っております。それから、もう一つ出ましたマイナンバーの方なんですけども、今マイナンバーのいろんなサービスとかも提供受けるということで、マイナンバーカードの普及の方なんですけども湖南市の方では8月末現在で 15.3%になっています。9月の方が、まだ集計が出ていないということで8月末で 15.3%というようなことで今聞いておまして、4月の段階では 12.9%ということで、徐々に上がってはきておりますけども、やはり、今後デジタル化を進めていまして、より効率的に事務を、また皆さんの方にいろんな情報提供するに当たりましてはマイナンバーカードというのは、やはり、普及に努めていくべきというふうにも思っております、ですので、そういったところにつきましても、

国も言うてますけど地方自治体としまして、率先的に取り組んでいかなければいけないというふうに思っております。

議長

どうぞお願いします。

委員

第2の政策 デジタル社会の推進のところ、少しお話をさせていただけたらと思います。この情報通信技術の積極的な活用というのは、今後もう絶対に必要となっていくものですので、是非とも大々的に進めていただけたらなというふうには思っております。その中でこのICT、導入するには非常に費用がかかるということもありまして、その財源をどうするのかということもいろんな兼ね合いがあると思うんですけども、導入したら終わりではなくて、やはり維持管理、それから機器の入れ替え、入れ替え等に伴って、もう常に費用が発生するということになりますので、その辺をどんなふうにしていくかということを考えていく必要があるんじゃないかなというふうには思っております。今学校現場ではギガスクール構想っていうのが動いておりまして、学校現場で子供たちに1人1台の端末を渡してそれを授業に活用していこうという動きになっています。その導入のための予算が、今回はそのギガスクール構想が動き始めたので国からの補助があるんですけども、今回その端末を整備したあと、これが5年とか経った時には、その機器がもうすぐ古くなる、その時に補助があるかどうかというのはわからないってことで、学校現場でもその費用をどうするかということは、今懸念されている事案であります。ただそういう心配はある反面、子供たちはもう小さいうちから学校にいるうちからICTに触れて育っていく。今回のコロナで、大学とかもオンライン授業になったり、あるいは企業さんでもテレワーク導入されたりとかいうことがありますけれども、どんどんこのオンラインでいろんなことをやっていくという流れにはなっていくと思いますので、今の少子高齢化の話も出てましたけれども、湖南省で育った子供たちが大体大学進学を機に外に出てしまうってことは、大きいと思うんですね。そのまま行った先で就職してしまうってことがあると思うので、今回のコロナでいろんな影響出てますけれどもオンラインが進む、オンライン化が進んでいけば、湖南省にいながらにして、他の大学で学ぶ、あるいは県外の企業に就職することが可能になってくるという、そういう未来も見えてきますので、そういったあたりも活用していただければなというふうに思っています。以上です。

事務局

今後もデジタル化を進めていくということで、ここに謳わせていただいております。

ますけども皆さんご心配いただいておりますように、そうしたらその財源どうしていくんだというようなことになってきます。そういった中でやはり、今言ってきました学校現場におけますそういう、1人タブレット1台っていうような取り組みもありますけども、今回は国の方が、大部分持っていただいているっていうような形になってます。ただこれは全国的にやはり進めていくべきものでもございますし、各自治体におきましては、国との負担割合というようなことでやはり、今後国と調整を図りまして、もう日本全国共通の問題、共通の課題になってきますので、そこら辺の負担は、費用負担というふうなところは、全国の市長会とかそういったところからの要請とかもありますのでそういったところでも、今後うちの市としましても取り組んでいきたいというふうにも思っておりますし、あと、他の市単独で使ってるシステムにつきましても、今現在、湖南地域の方を中心にクラウド協議会というのを設けておりました草津さん栗東さん守山さんとかとか一緒に8市で取り組んでおりました、住民基本システムの元となります基幹システムの方の共同化というか、みんなでそのシステムを活用しまして、その分費用を抑えていくというようなことの取り組みもやっております。そういった中で、ちょっと一つ紹介しますとその基幹システムをクラウド化によりまして、平成29年30年度につきましては大体1億4000万、5000万ぐらいかかっておったものが、今はその半額ぐらいでいけるように取り組みもさせてもいただいておりますし、そういったふうに国全体も、今クラウド化を進めていくようにという動きもありますし、単体の自治体だけでいろんなシステムを開発して、それで費用をかけていくのではなくてそういう連携して、費用も抑えていくというような取り組みもしておりますので、そういったところも今後ますます進めていかなければいけないというふうに思っているところでございます。

議長

お願いします。

委員

もう感想的なことになって申し訳ないんですが、申し上げさせていただきます。先ほどからたくさんいろんな意見、貴重な意見出ましたがやはり私も2回目で表現が難しい。例えば、物件費とか何とか費とかたくさんありますね。この内容がもう一つわかってないんです。補助費、人件費はわかりますが扶助費等々、何が含まれてるか、いまいちよくわからないのが一つですね。それはいいとしまして、あとよく出てくるのがデジタル化だとかICTと出てきますが皆さんおっしゃってます通り、これはあくまでも手段であって、よく目的と間違えられる方がいらっしゃるんですが、これ入れたら何か進んでるとか、かなりいいとか、もうまち自体が良くなったとかじゃなくて、

これを通して予算を削減したり人件費削減したり、効率化したり、その辺り目的なのに目的と手段をよく、仕事でもよく民間でも言われますが、間違われませんように、あくまでもツールです。それをどうしていくのかが今後かかってきますので、ぜひうまくやっていただければと思います。

それから感想ですが、ここにいらっしゃる方半分が、住民の方で、半分かどうか知りませんがそうでない方と二分化されると思います。私住民なんです住民の立場からちょっと申し上げたいと思うんですが、このコロナもいろんなところで、大きく変わってます。今、一気に変えるチャンスです。行政というのは、変わりにくい体質があるかと思うんですが、できたら一気に変えていただきたい。私住んでいていい面と息苦しい面がいっぱいあります。例えば、総括もせずに、前年、要するに前例主義ですね、前年度こうやったからこれをやるとおんなじようなことをやるほとんどコピー状態です。なぜ変えられないのか不思議でかありません。民間ではつぶれてしまいます。つぶれることはもうやめておこう。要するに、もう少し価値、価値感の価値ですね、バリュー。価値のあるものをして、価値のないものはどんどんなくしてもらいたい。そのための、デジタル化であつたらいい。いろんなツール使ってやってもらえればありがたい。毎回到んなに、通信の紙、催し物がいっぱい届くんです。これもものすごく無駄で、自己満足のやってる人たち困るのですが、無駄と見る方も大変ですし、ごみになりますし、何かその辺り、役員も大変で役員はあれを配るのが仕事みたいな感じになってますし、何かもう少しできないかなという感じはしています。最後に、どなたか大胆な発想、このままでは没落するというようなことを言われてましたが、何かそのあたりも、要するにもう締めるばかりでは息が詰まってきます。やっぱりお金を儲けるとか前向きな発想をぜひ、やっていただければと思います。気になっているのが、お金をかけるっておかしいんですが、インパクトのある施設といったらちょっとまた箱物になってきて語弊があるんですが、誘致だとか、草津線をちょっと仕事柄やってるんですが、上手く見直す方法、遅れているとかどうのこうの言われますが、まだまだやっぱり交通渋滞には非常に便利なものであって、何かできるんじゃないかと思われま。特に施設については、ここを現場のまちですはっきり申し上げまして。現場というのは工場とか非常に多い。もう少し文化的、中枢的ななんかそういうものが持ってこれないか。文化的と言ったら文化ホールを作ったら、あれは箱物であって中身がありません。あんまり言うたらいけません、学校だとか、もっと違う人と呼んでこれをなにかないかなと思って。研究所だとか、研究所だけでは活性化しませんが、なんかそういうものも必要じゃないかというようなことは感じました。

事務局 今言ってくださったように、私も行政マンながら恥ずかしいんですけども、この横文字とかが最近よく出てきたり、また行政の専門用語につきましては行政マンでも知らない言葉がよく出てきています。そういった中で、今回の行革の大綱、今回申し訳なかったんですけども、大綱作るに当たりましては、用語集の方も作らせてもいただきたいと思っておりますし、皆さんがよりわかりやすく、わかりやすくというよりもより理解していただきやすいものに仕上げたいと思っておりますし、先ほどから出ておりますけども、これ作ったらまた行政5年間このままで、ずっと行くのかというそれではいけないと思います。やはり時代時代にありましてスピード感持って変えるべきところは変えていかなければいけないと思っておりますし、このコロナ禍におきましては、今が変わるチャンスだというようなご発言もいただいております。先ほど来も決断と選択とかいうこともいただいておりますし、今回そういったもことで、行革大綱今までの事務をどう見直していくか。そのところを、もう少し強調できるところは強調していきたいというふうに、今、ご意見もいただいておりますので、また検討を進めて参りたいというふうに思っております。

議長 お願いします。

委員 第3の政策の一番なんですけども、事務の効率化の推進というのは、今ある事務を効率化するというんですけど、今おっしゃったようにですね、事務事業の見直しをしないと廃止とかしないと縮小均衡しませんので、表現としては事務事業の見直し効率化の推進かなとも思うんですけども、ご検討ください。

事務局 事務事業の見直しの方も必要だというふうにも思っておりますし、そういった中でも事務の効率化の方につきましてもこの事務の効率化書かせていただいておりますのが、素案のところでは20ページのところに書かせていただいておりますけども。こちらが第2の政策のところとかぶってしまうところがあるんですけども、デジタル化を進めて事務の効率化を図っていくと、いうようなところで押さえておりました。今言っていただきましたように事務事業の見直しの観点も必要かと思っておりますのでその辺もまたちょっと検討はさせていただきたいというふうに思います。

委員 先ほどからデジタル化いろいろ出ておりますが、19ページの第2の政策。ここのところで、一番の〇行政手続きの始めから終わりまでを一貫して、というようなこと書いてますが、今、3割4割が高齢者になってますね。なん

か高齢者の方にもね、わかりやすくというようなことはできていだろうか、これから進めていくなかで。高齢者がわからないからと置き去りにされていくような形にならないかと。その辺は何かこれから取り組みを進めていく中で、いろいろ広めるために、老人クラブで勉強会をやるとか、なんかそんなことでちょっと老人の方も労わって欲しい。高齢者、お願いしたいと思いません。

事務局

やはりデジタル化を進めていくに当たりまして、私もそうなんですけども、スマホとかにしましても、いろんな機能があつてわからないと。それであと私はちょっと機械的なところがちょっと苦手な部分もありますので、わからないから使わないとか、使いたくてもわからないとかいうところもありますし、そういったところ、今まで、市の中でも生涯学習とかの中でもいろんな講座とかもやってたと思いますけども、そういったところの講座とかも今後はやはり考えて、市としまして、やはりデジタル化を進めていくに当たりましては市民さんがそれを使えるように、何らかの施策は必要になってくるかなというふうには思っております。

議長

お願いいたします。

委員

今おっしゃる通りで、デジタルやと言つてのめり込むような怖さっていうのはない方がいいかなと。市の方で、障がい者の支援をするという会議がございまして参加させていただいてるんですけども、こういう部分でもその介護とかっていう部分では、非常に有効じゃないかなと。これ外国の例ですけども、時計みたいなもので血圧とかいろんなデータが取れるようになってるようなものがあつて、お年寄りですから外されると、外されたなっていうのは実はわかるように、そんな高いもんじゃございません。で、そういうふうにいるんな方が、これは人権の問題もあるので正しいかどうかは別として、徘徊されても今どこにいるんだというのも、本当に痴ほうが進んでしまうと、ちょっと簡単には外れないようにしておられる。僕にもあるんですけど、いろんな形で無理のないというか、何かデジタルやみたいなんじゃない世界っていうところから入ってもいいんじゃないかなというふうには思ってます。

あと、この三つの柱の中で、やっぱり真ん中のデジタル社会の推進というのがもう中心に来るのかなと思つてお話を聞いておりました。

コミュニティとか第1の政策にしましても、透明化を図ろうとか見える化を図ろうとしたらやっぱり第2の政策にかかってくるでしょうし、第3の政策の効率化を図ろうとすると、やっぱり第2の政策に関わつて来てしまうんじゃない

かなというふうに思いますんで、やっぱりちょっと考え方をちょっと変えていただいていますし、8市共同でやられるというのは非常に重要で、身障者の方々とか、介護とか教育なんかについてもこの8市の共同で、8市がいいのか10市がいいのかわからないですけども、すいません、やっていただけると非常に助かるなというふうに思ってます。

あともう1点なんですけども、10月の30日か31日かに、クラウドファンディングを利用して、夏祭りをしようとしておられます。まち協様には大変な迷惑を多分かけてるかも、湖南工業団地の方にもPRしてこられました。僕が昨日見た時点ですけども75万中、大体67、8万ぐらい集まって、お1人で10万円出してくださってる方が2人いらっしゃる、こういう取り組みというのは確かに失敗もあると思います。やろうと思ったけど失敗したみたいなやつもいっぱいあると思うんですけども、個人の善意を集めて物事を成立させていくっていうのは、決して悪いことではないなと。ただ、失敗した時に失敗した失敗したと言わないように、ぜひお願いしたいなというふうに思います。ですからクラウドファンディングって言いますけども、キャンプファイアって僕も初めて使ったんですけど、簡単にそういうことができるようにはなってきましたんでぜひよろしくお願ひしたいなと。

先ほど教育の話がされてましたけども、県の方でも教育委員会に行かせてもらってるんですが、このタブレットと言われてるやつ。あれを一体幾らで買ってるのというのを明確にされた方がいいかなと。台湾製のものなんかですと1万円もしない。その中に入れるソフトウェアにお金をかけられるっていうのは8市共同でやるのはいいと思うんですけど、ハードっていうのは今めちゃくちゃに安いんで、ちょっとその辺、他の自治体ですけど、ものすごい高い値段で買っておられたんで、もうびっくりしてそれもつたいないですよというようなことも、いろいろあると思うんですけども、お願ひしたいなと。

最後の最後ですけども、国でも行革100当番ってやられます。やられてます。河野さんね。湖南省ってあるんですか。この会議も重要ですけど、これオープンにして、行革100当番でじゃんじゃん書いてもらったら、多分大変だと思いますけど、いいんじゃないかなと、もっと若い。下手すると高校生とか中学生あたりの意見を聞くっていうのは非常に重要じゃないかなというふうに思いました。以上です。別にコメント要りません。

議長

ご意見ご質問ございませんでしょうか。お願ひいたします。

委員

ちょっと何ていうんですかね全然、私だけなのかもしれないですけど、これを検討する土俵にちょっと乗れないんです。もともと書いてあるその冒頭の

13 ページの数字も、今直してこれでは多分無理だろうからっていうとその前提の数字が変わり得る中でされる。なので先ほど、もうちょっと根本的にお考えなったらどうかって、それは無理だろうということ。

それぞれの政策もなんですけども、様々なコミュニティとの連携ってこれまでやってなかったんですか。市政情報の積極的な共有っていうのもこれまで言ってこなかったですか。ICTの活用で合理的なことこれまで言ってこなかったですか。社会生活のデジタル化の推進はそれは世の中の前提条件が少し変わってると思いますけれども、これまで言ってこなかったですか。事務の効率化の推進っていうのもこういうことやってこなかったんですか。そうじゃないですよ。いろいろやってるっていうふうにお話になってますけど、いろいろうまくいなくて先ほどのデジタル化の中にあつた他の自治体との連携もですね結局うまく動いてなくて効果が上がってないっていうことを伺いながらですね、なおそこにそれがうまくいくような前提で書かれていることに全く共感できないんです。

もしこれをするんだとしたら、これまでの行革やこれまでの行政運営の中で、こうした取り組みのどこに問題があつて、どこになお改革する余地があつて、何が成果であつて、どこに改革する余地があつて、ここに力を注がなきゃいけないんだってということが全く見えなくて、こういうことやってこなかったんですか。地域との連携やってこなかったんですかね。その成果の中でうまくいったんですかかってないんですか、何が課題で残っててそれを、どう行革にしなければいけないんですか、具体的なことは大綱で決めるって話になるんですけど、具体的なことが全くフリーハンドで課題意識も読めないものを見せられてですね、これが大枠でこれで実行項目を作りますって言われてもですね。全くフリーハンドじゃないですか。大人なのでうまくやってください、了解いたしましたっていうのが大人の態度かもしれませんが、行革の委員として委嘱を受けて、自分がわかることで、何か湖南省に貢献する湖南省の行革に貢献するんだということが私の責務だとしたら、私はこの内容には大変共感できませんと申し上げるしかございません。以上です。

議長

今のご指摘に対していかがでしょうか。

事務局

こちらの方なんですけども、今までからちょっと話聞かせてもらってますと、やはり先ほど来もありましたように、少し経過とかがわかりにくいのではなからうかと。それで今仰ってくださいましたように、今までそしたらどんな取り組みをしてどんな問題があつて今回こういうふう to 上げてるんだということが見えていないと、そういうご指摘をいただきました。確かにこの文章だけ

でまとめてますので、その辺が見えてきてない部分がありますので、こちらの政策、それぞれにつきまして今までどういうふうな取り組みをしていて今どの段階でいる。今ご指摘いただきまして、私ども反省すべき点が、先ほど来見える化を図っていくというふうなことを言っているにもかかわらず、今までの取り組み状況が、ちょっと示せていない部分がございますので、第1の政策第2の政策第3の政策の方につきましては、今までこういうふうに取り組んで来てまして、今現状こういったところに来ています。

例えば様々なコミュニティの連携につきましても、今までからおっしゃる通り、いろんな自治会さんなり、またまちづくり協議会さんとかも、連携もさせていただいておりますし、今後さらなる展開の方も、湖南市の方で考えておりますので、そういったところもう少し詳しくご説明をさせていただきます、対応させていただきたいというふうに考えております。

ちょっと内容的にわかりづらい点、今までの成果のところわかりづらい、現状どこにいるかというのわかりづらい点があるかと思っておりますので、その辺は整理させていただきたいというふうに思います。

議長 お願いいたします。

委員 おっしゃる通りだと思います。実際、経営、ちょっとすいません横文字になるんでごめんなさい。KGIもなければKPIもない。キーになるゴールって何が大事なゴールかなあとかいうのは数値でも、目標として挙げられてないんで、どこまで中間でできたかなと、KPIパフォーマンスが。キーパフォーマンスがどこまで上がったのかなっていうのが非常にわかりにくいということは、その通りだと思います。ただこれは、委員もよくご存知の通りここだけではなく、日本国中全部です、多分。教育にいたしましても教育委員会行ってましても、もうポチポチ偏差値とかやめたほうがいいんじゃないと思うんですけど、これもなかなか消えていかないというようなこともありますし、なかなかこの、大きく変えていくってのは難しいかもわかりませんができるところからでも、ぜひ、進めていただければありがたいなというふうに思ってます。大変真摯なご意見で、僕は感動いたしました。ありがとうございます。

議長 お願いいたします。

委員 今、ご発言されてるんですが、私も全くその通りだと思うんです。だがそれは断言できるかというと、市の方でいろんな取り組みがされてる中で、途中で切れてしまうんですね。トカゲの尾っぽと一緒にぶつんと終わっ

てしまっている。これが今までの湖南省なんです。その辺はどうかというふうに思います。こういう改革でお話してるんですが、どこかで切れていく。この辺が非常にまずい、湖南省というふうに私は考えてますので、委員がおっしゃってるように本当に真剣にできることから取り組んでいく。これが非常に大事だと思うんです。これだけのたくさんの方を、行政挙げていただいてもまずできない。一つか二つしかできないのが全部お金がかかってくる仕事なんですね。この辺でいくつも上げるよりも、一つの議題を真剣に取り組んでいく。この辺が私は非常に大事だと思うんです。

まちづくりの方で、例を挙げますと、昨日岩根のまちづくりセンターの厨房が傷んだ。今工事やってますけれども、これが本当に 5000 万かけて、その建物が必要なのか。この辺のところのことをしっかりですね、市は考えなきゃいけない。例えば、石部が昨日、冷暖房が切れてしまった。5億かかるんですね修理に。それは文化センターと、地域センターとの金の立ち会いなんです。屋外機が8台座ってるんですが、8台とも変えなきゃいけない。それに5億円かかる。となると、その建物は必要なのかというような考え方っていうのは、この行政でもしっかりと考えていただきたい。こんな思いがしておりますので、その辺のところの詰めというものをやっていただきたい。何回も言いますが、やれることからやる、そして喜びを与える感動を与える。これが市に欠けています。何もかも手をつけて、石部駅が 14 年経ってもまだ改修されてないですね。今やっと立ち上がって、4年後にあれが工事が入るんですね。こういうことが、周囲に不安を与えてる。何を言ってもやってくれない。これが市のやり方なんです。だから、委員おっしゃるように、しっかりと計画をしながら、しっかりと実行していくっていうのは、市民も期待してますのでその辺のところ行政の方でも考え直していただき、もう1点は、こうした大きな企画をされている中で、市の職員の連携というものの各課の連携、これが非常に欠けてるというふうに私はとっております。たくさんの方があるんですが、いろんなところの連携というものをしっかり取って、この企画を進めていくというの、非常に大事だというふうに思いますので、その辺のところまたご検討いただければうれしく思いますので、よろしくお願いします。以上です。

議長

事務局、いかがでしょうか。

事務局

先ほどからご意見いただいておりますけども、やはり前回の会議もそうだったと思うんですけども、湖南省の場合第三次の行革大綱の場合につきましては実施計画の中で 49 項目挙げておりますけども、目標がしっかり定まっ

てないなり、成果の見えにくいものになってるというご指摘も前回の会議の時もいただきました。そういった中で前回にいろいろ実施計画のところを見ていただく中では、確か委員の方からもう少し、やはり行革をするにしましてもあまり幅広くとらえるんじゃないかと絞った中で、取り組んでいくべきではなかろうかと。大きく広げ過ぎて、結局何をやってるかわからないよりも、強弱をつけてやっていくべきだというご意見をいただいてたと思いますので、その辺も踏まえまして、今言っていたいただきましたように、やはり今やっていかなければいけないことを強く進めていかなければいけないところをもう少し、しっかり、今までの成果も踏まえましてもう一度検証させていただきたいというふうに思っております。

議長

他にご意見ございますでしょうか。お願いいたします。

委員

確かに裏付けと数字やね。それが理解されてないと思うんですよ。だから前回にもらってるいろんな数字、効果、そういうものをずっと確かにそうかなあという。

一番初めにちょっと言いましたけども、やっぱり具体性のある数字とか、それは確かに必要だと思うんですよ。だから、大綱は大綱で裏付け資料は裏付け資料。ただし、その時に、全部回収すればいい。そういう予備的なものも必要であるという、確かにタブレット持って来てタブレット何ページ見てくださったらわかると思うんですかね、そういうわけにいかないと思うんですよ。だから、ある程度、こういう今のいろんな問題が出て、それについてはこういう数値化されてますとかいえると思うんですよ。確かにコミュニティの問題はいろいろあるんですけどね。やはり、まちづくり協議会、それから、まちづくり協議会の運営方針なんていうのは、私もちょっとわからないんです。ただし、自治会はこれ住民が信任して、区長さんとか自治会長を決めてるんですけども、まちづくり協議会というのは任意の団体になってるんですよ。その位置付けも曖昧だから、議論している。地域でも。区長さんとまちづくりと、なんかいろんな問題がある。それでコミュニティはできてないと思うんですよ。だからそういうのも精査する必要があるし、だから、他の数字はやっぱりきちっと出てるんだから。財政面でこんだけ、効果を出しましたという金額も出るところもありますのでね。そういうのを公表できる範囲内の所は出したらいいので、ただし、一番大きなのは議員定数。前回から2人減らしてくださいということで、減らしてもらいました。今の議員定数、本当にこれが適正かという議論化はする必要があるんですよ。それと、やっぱり職員定数これ削減、削減、削減してるんですけども、正社員と臨時職員これ

がちよつと曖昧なんですよ。正社員は落としたけど臨時職員は定数に入っていないんです。だから、そこら辺の行政改革で、今後、適正な湖南省を維持していくためにはどうするかということを考えさせていただける会議だということは何、やっぱりしっかりともう1回認識してもらってやっていただくには、ある程度の数字は必要かと私は思います。

委員

よろしいですか。今のまちづくりと区長の関係なんですけど、令和3年からは、区長さんとまちづくり協議会との合同、一つにしてしまう。こういう取り組みを来年の4月1日からされます。大きくこのまちづくりっていうのか、湖南省が、まちが変わってしまうということになります。もう1年や2年ではできませんが、そういう計画を今されておって4月1日から実行される。このまちづくりが、なぜこうみんなに親しみがないか、この辺のところ非常に悩みになっている。区長さんも、あっち向いてる。こっち向いてくれない。この辺の間連携っていうのが今取れてないんですね。ですから、4月1日から区長とまちづくりは、一つになっているいろんなことに取り組んでいく。こういう編集をされます。まちづくり協議会は報酬がゼロなんですよ。全くいただけていない。区長さんは20万も30万もいただけてる。この辺のところは、非常にこう、まちづくりの役員さんは不安になってる。愚痴が出ている。その辺のところから、来年の1日から、大きくその報酬面も変わっていく。こういうことになってますので、その辺を報告しておきます。以上です。

委員

ということは、負担増になるわけですか。この行政改革で今、もっと経費を落として健全なまちづくりしましょうと言ってるんだけど、今話したら、負担増になるということですよ。その経費はなどからまたどこから出してくるのか。だから、今、意見の中でいろんな話ができるんですけども、やっぱり考えざる考えていかなければならないところがある。それは財政面と、まちづくりを運営してる課が違うからそこら辺がちよつとわからない。総合計画なんかはね、まちの全体で、私も委員をしますからまち全体でこういうようにしましょうとか言って、いろんな読めるんですけども。そういう内部的な形がちよつとわからない。私は確かに、まちづくりは経験してないけども、自治会の区長をずっとさせていただいていたんで、中身はわかりますけども。だからそこら辺の運営が今フツと聞いて、あれ？という。行革っていうのは、健全な市をするために経費をどうのように抑えて、無駄を排除しましょうということを検討する会ですから、やっぱりそこら辺、しっかりと、疑問に思われるやつはやっぱり、ある程度説明していただいた方がいいかなと私は思います。

事務局

今言っていただきましたように行革というのは先ほどもちょっと触れさせていたいただきましたけども、限られた資源を有効に活用しまして効率的な業務、行政運営を行っていく、今も話ありましたようにもう湖南省をどう維持していくかということ、将来的に持続可能にまちをどう進めていくか、限られたお金の配分を、例えば人件費に今後かかっていくようでしたら、人件費を抑えていかなければいけませんしそちらの分はまたデジタル化を進めるんでしたらデジタル化の方にお金もかかっていく。そしたらデジタル化にかかった分は、どっかの部分を削っていくとか、いろいろと、総枠の中の配分を少し変えていくことが今必要なのかなというふうにも思っています。総枠が、今はコロナの関係で若干、減っていく可能性もありますけどもそれを歳出の面の総枠の配分をうまく分けて変更していきまして、先ほど出てましたようにまちづくり協議会さんまた区長会さんとかが一緒になりまして、やっていただくんですがそこにもまた費用がかかってくるとなりましたら、今まで行政が担っていた仕事を一旦はそちらでも見ていただくとかいう話も出てくるかもしれません、そこら辺の配分をうまくしてきまして、やはり湖南省を維持していかなければいけないというふうにも思っておりますので、先ほど委員さんから言っておりましたように、湖南省の現状がこれまでの取り組みがどうであって、現状が今こうなってるよと。これで将来に、こういう課題もあるから、今後はこういう取り組みを強化していくというところをもう少し整理させていただきたいというふうに思います。聞いておりますと、ありきたりのところが書かれてるんじゃないかという中で、実際、現状が見えてない中ではこれでは判断できないというような、ご指摘もいただいておりますのでその辺をもう少し、整理させていただきまして、ご説明をさせていただくように、次回はやさせていただきますというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

委員

ちょっと先ほどからまちづくり協議会、ベタな話になってますので、引き続き経験した立場上申し上げますと、やはり整理されてない各自治会、区、吉永とか三雲とか何とかは縦軸と。まちづくり協議会は横軸だと思ってたんですが、実はおんなじようなことをやって、これ一体何やっているのといいたくなって大分反発したんですが、例えば、もう事例で挙げますとグランドゴルフやります二つ、二つがやります。これ、無駄の無駄です。これが活性化するんじゃなくてお互い無駄をやって、役員も大変、それなぜ整理できないのか、まちづくり協議会というのは、各自治会がやってる大変なところ上を全部取っていただけて、横断的にやっていただけるもんだと思ってたんですがそのようにまだなってない。少し進んでるのかもしれませんが、その辺りの無駄をとっていただけて効率的に、役員の負担もないように、そして地域

の参加も無理やりじゃなくて自主的にできるようなことに、行政中心にやっていただけたら非常にやりやすいかなと思われま。一つの事例ですべてが万事がそのようなことになってますので、なんか無駄をとっていただければと思います。そして、効率的な自信を持てるまちづくりということで、ぜひ頑張っていただければと思います。

議長

他にご意見ご質問ございませんでしょうか。
いかがでしょうか。ご意見ございましたら。お願いいたします。

委員

私こういった行革の方で委員にならせてもらうとかそういうことを考えたことも今までなくて、難しいところもあるんですけども、今まで話聞いている中で大綱作ってこれから実施計画を作成されてるんですけど、今までというか、実施するにあたって中心となるのはやっぱり住民の方かなというふうに思うんですけど。今までのいろいろな同年代というか、同世代の方の話を聞く中で、どれだけです住民の方がこういった市政とかですね、その辺のことに参加されているのか、未来のことについて参加されているのかというのが、非常に疑問に思っているところがございます。これからもコミュニティ、これからの課題の中で課題というか、取り組みの中で、コミュニティとの更なる連携とかっていうのがございますけども、その地域、住民含めてどうしていきたいのか、その地域の住民がそれぞれがどうして行きたいのかというのをもう少し具体的に、というかそういうことを盛り込んでいただければなというふうに思います。数値目標とか今までのことの数値が何ていうか欠けている少ないって話もありましたけども、そういったことを見える化、これから見える化ですねどんどんしていただいてより1人でも多くの住民の方が参加できる市政運営であっていただきたいなと、いうふうに思います。以上です。

議長

事務局いかがですかよろしいでしょうか。

事務局

事務局の方としましては今日会議を開かせていただきまして、私が思いましたのがありきたりの行革の、大体よそさんも同じような取り組みをされま。そういった中であまり大綱というのは大きくは異なっていないと思います。ただ、湖南省の今の現状をやはりもう少し詳しく、皆さんにお伝えしまして湖南省としてはこういったところを強化していきたいと。それで行革に取り込んでいきたいというところを、もう一度整理させていただきまして、ご説明させ

ていただきたいというふうに思っております。
今日いただいたご意見も踏まえまして、その辺りをもう一度今は素案という
ような形でもございますし、そちらの方を整理させていただきまして、また皆
さんにご意見をいただければなと思っております。そういった中で、今市の方
で思っておりますのが、やはり第三次の時の反省点としましては、大きく
いろんな実施計画の中で 49 項目を設けてましたけどもそれを半分ぐらい実
施計画では絞らしていただきまして、ただその項目につきましては、必ず達
成するんだというようなところで、数値目標的なものも設けさせていただい
てというふうにも今考えてるところでもございますし、もう少し次回には、湖
南市の現状がこうであるので、こういうふうに取り組みを強化していくとい
うところを、ご説明させていただくようにしていきたいと思っておりますのでよろしくお
願いします。

議長

ありがとうございました。
たくさん本日はご議論いただきまして厳しいご指摘もございましたけれど
も、本日いただきました意見を十分に反映いただきまして、次の案のご準備
をお願いできればと思います。
それではまだまだ議論を行いたいところではありますけれども終了時間も
迫っておりますので、次第四番、その他について事務局からご説明お願い
いたします。

事務局

【日程調整】

議長

次の懇談会は 10 月 27 日の火曜日、9 時半から開催といたします。
場所等につきましては改めて事務局から案内文書を送付いただくこととい
たします。
それでは以上をもちまして、本日の議題はすべて終了いたしました。
ありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

事務局

長時間ありがとうございました。
副会長、議事進行の方ありがとうございました。それでは閉会に当たりまし
て一言ごあいさつを申し上げます。

事務局

委員の皆様には本日、長時間にわたりましてご議論いただきましてありが
うございました。厳しいご意見もいただきましたけれども、本日いただきました
ご意見、ご指摘の事項につきましては、再度また事務局の方で検討させ

ていただきまして、また委員の皆様にお示しをさせていただければと思いま
す。

それでは本日の懇話会つきましてはこれで終わらせていただきます。

どうも、ありがとうございました。

終了 11:30